



現代の電化社会はいかに始まったか？

トーマス・エジソンと その愛弟子サムエル・インサルの足跡をたどる

我 国は 2050 年に温暖化ガス排出の実質ゼロ化を目指すことを国際公約しました。その実現のためには電気の形でのエネルギー利用がますます重要性を増していきます。また、本格的な電力自由化のなか電気エネルギーの供給や消費のあり方も変わろうとしています。

発明王トーマス・エジソンの愛弟子で、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて今日の電化社会の基礎である「産業と生活の基盤としての巨大な電力ネットワーク」と「誰もが使える安価な電力料金体系」を完成させた米国人サムエル・インサル (Samuel Insull) の偉業を振り返り、脱炭素社会における電気エネルギーへの向き合い方を考えます。



1881年渡米してエジソンのもとで働き始めたころのインサル
[University Archives, Loyola University of Chicago]



1893年のシカゴ万博は電化時代の華やかな幕開けとなったが、同時に電流戦争における交流の勝利祝賀会でもあった
[<https://www.loc.gov/item/2017658679>]



1926年11月29日号のTime誌の表紙を飾った絶頂期のインサル

7/9 **金**

午後7時～8時30分

定員 **40人** (先着制) 参加費 **500円**

会場 **三鷹ネットワーク大学**

講師 **松田 道男**

KMCコンサルティング
株式会社 代表



一般社団法人 電気学会

電気学会は 1888 年に創設された学者・技術者で構成される会員組織の学術法人です。すでに1世紀以上の歴史を有する伝統ある学会ですが、時代の変遷・進展にあわせ、また、国際的視野に立って、電気学術全般の研究・調査活動やその成果の発表を通じ、社会に貢献していきたいと考えています。

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

FAX 0422-40-0314 **お問い合わせ電話** 0422-40-0313

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

申込期間 ▶ 6月8日(火) 9:30 から 7月8日(木) 閉館まで

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル 3 階